

西宮市議会議員

想いつなぐ

宮本けいこ通信 vol.7

現在2期目、建設常任委員、広報委員



子育て真っ最中!! 3児のママ議員

日々の活動はこちらから▶



Instagram
X (旧Twitter)▶



宮本けいこは今年度「建設常任委員会」に所属しています。

所管は都市局・土木局・上下水道局で、都市整備や道路、公園、街路樹、上下水道等、日々の生活に欠かせない社会基盤の整備・維持管理を通じて、安全で快適なまちづくりを支えるものです。

また、西宮市100周年となる今年も「にしのみや市民祭り」で議会体感ツアーを実施しました!

本会議や委員会も傍聴できますので、ぜひお越しください!



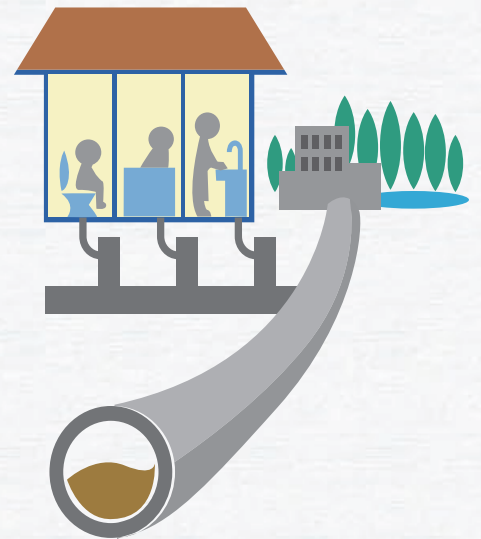
12月開催 建設常任委員会 所管事務報告より

下水道事業、水道事業 投資・財政計画の見直しについて

老朽化した公共上下水道の修繕工事、更新作業に財源が必要となる一方で使用料収入は人口減少や節水機器の普及等により水需要の減少、物価上昇による工事費増加、技術職の人材不足など極めて厳しい状況で下水道事業は令和9年度には使用料改定が必要と示されました。(改定率は約21%と見込み)また水道料金も同じく令和11年度には料金改定が必要と示されました。

下水道使用料、水道料金の改定に向けては、経費削減や事業の効率化を徹底し、引き続き合理化に取り組み、市民に過度な負担を生じさせないよう最大限努力すべきと要望しました。

またその取り組みが伝わるように市民への丁寧な説明も必要です。



宮本けいこ プロフィール

1979年4月生まれ 津門稲荷町在住 (立憲民主党所属)
大阪市立工芸高等学校 ビジュアルデザイン科卒
結婚後、平成医療学園専門学校 鍼灸師科卒
鍼灸師・障害者スポーツ指導員
西宮市立津門小学校PTA副会長・地区子ども会総務役員

2021年7月、西宮市議会議員だった夫(宮本かずなり)が会議中に脳幹出血で倒れて意識不明に。そのまま息を引き取った。その日から突然3人の子どものシングルマザーに(子ども1歳、6歳、12歳(当時))。夫の遺志をつなぎ、またひとり親や立場の弱い人に寄り添いたいと立候補を決意。

2022年3月西宮市議会議員補欠選挙で初当選。2023年4月西宮市議会議員選挙で4,229票のご信託を賜わり2期目当選。建設常任委員会委員、広報委員、西宮市社会福祉審議会委員(民生委員審査専門分科会)

5歳の保育園児(やんちゃ!)、10歳小学生、16歳高校生を育てながら日々議員活動奮闘中!

ご意見・ご相談はこちらまで

メール・・・miyamoto.keiko4@gmail.com
TEL/FAX・0798-34-1760

メールは
こちらから→



留守番電話になっておりますので
ご連絡先とメッセージをお願いします

一般質問を行いました。
裏面もご覧ください。▶



1 自習室の拡充について

宮本：夏休み期間や常時利用できる自習室の増設について、学生を含めた市民みんなの学びたい気持ちに応える取組みが必要と考えるがどうか。

答弁：まずは夏休み期間などにおけるニーズ把握も含めたモデル実施に向けて協議する。



宮本けいこの提案

一般質問を経て、試行的に夏休み・冬休み期間に新たに第二庁舎や市民館など自習室が増設！

隣接する尼崎市では自習室が21施設、647席あり、西宮市では令和7年6月現在で13施設・計372席と少ない。市民や学生が落ち着いて利用できる自習室が必要と考える。

2 失語症について

宮本：失語症は外見からは気づきにくいいため、まずは一人一人が失語症について知り、理解することが必要。失語症の理解、市民への啓発について市の考えは。

答弁：失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の周知とともに、障害に関する理解啓発の一環として、ヘルプマークの配付も継続する。



宮本けいこの提案

失語症は、脳の病気や事故などが原因で誰にでも発症する可能性がある。聞く・話す・読む・書くといった言葉の働きに不具合が生じ、日常生活や社会生活におけるコミュニケーションに支障をきたす。まずは失語症という病気について正しく知ることが大切。

3 学校健康診断について

宮本：文部科学省の通知にもあるように診察に支障のない下着着用について、市内の県立高校や他市と同様に児童生徒等のプライバシーや心情に配慮し、認めることができないか。

答弁：正確な内科健診を行うことが重要で上半身の脱衣を基本とする。児童生徒のプライバシーや心情への配慮として令和6年度からは西宮市医師会と協議の上、タオルで胸部を覆って健診を受けることを可能とした。



宮本けいこの提案

西宮市内の市立高校2校は上半身脱衣でタオルをかけて胸部を覆う運用、県立高校3校は下着着用で内科健診が行われている。診察に支障が出ないように実施することは必要だが、学校や自治体によって差が生じることなく、子どもの尊厳が守られる形を。

4 ICT教育の充実について

宮本：児童生徒用端末（タブレット端末）は重く、持ち帰りが負担、起動時間が長い、授業等での活用状況は学校により差がある。令和8年度予定の端末更新によるハード・ソフト面の充実と今後の活用は。

答弁：重量自体は今までと同程度。画面サイズや性能の拡充で動作が軽快となり保守性にも優れた機種となる見込み。児童生徒と教職員が共に学びを深める歩みの伴走者として、精力的に取り組む。



宮本けいこの提案

子どもにとっての直接的な経験を重要にしながら、先進的なICT活用モデル作りで全市的なICT教育の充実を求める。端末の軽量化は難しいとのことだが通学時のランドセルは非常に重く、特に低学年では負担が大きい。引き続き負担軽減策についても市として考えてほしい。



宮本けいこは皆さまの声を市政に届けます
皆さまの想いを聞かせてください。ひとりひとりの声を届けます
困ったときに困ったと言える社会、助けての声が届く西宮へ

西宮市議会のホームページはこちらから →

